一つ星

島定通信　第105号
令和７年10月31日
島原高校定時制教務

（職員・水田伊七章先生揮毫）

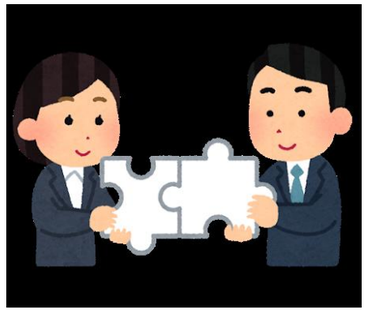
「face to face」　校長　渡崎　次郎

とある通信大学に在学中のＡ氏（年齢は私より少し上）が、鳴滝高校通信制を訪ねてきたのは、令和２年１０月だった。訪問理由は、「全ての授業をネット授業に移行し、鳴滝高校通信制をスマホ高校にしないか。」というものだった。文部科学省の指針が、新型コロナウイルス感染症拡大によって緩和された今がチャンスとのことだった。

まず、教務主任が３０分程度対応した。教務主任の授業を見せてほしいとの要望があったが断った。その後、私が９０分程度対応した。Ａ氏の技術・能力は理解できたが、全ての授業をネット授業に移行し、鳴滝高校通信制をスマホ高校にすることは、鳴滝高校通信制の教育方針と合致しないことを伝えた。さらに、鳴滝高校通信制にも、先生方の授業動画を生徒が視聴できるシステムはあると説明した。生徒が視聴できる授業動画を見せてほしいとの要望があったが断った。Ａ氏は自分の主張を繰り返すばかりで、私の話を理解しようとはしなかった。

「また来る。」と言い残して帰ったＡ氏は、３日後に本当にまた来た。前回同様の話が続いたが、「一度も登校せずに卒業できたら、生徒にとってこれ以上の幸せはないだろう。」と言ったので、（自称）温厚な私も我慢の限界に達した。「Ａさんの情熱が伝わってきたので、なるだけ傷つけないようにと思っていましたが、受け入れるか迷惑かの２択と言われたら、申し訳ありませんが、迷惑です！」と伝えた。するとＡ氏は、「残念。」と言い残し、帰って行った。

通信制高校では、学校での「面接指導（スクーリング）」と自宅での「リポート（報告課題）作成」の２つが学びの柱である。「面接指導（スクーリング）」は月に２～４回である。この数少ない指導の中で教科書を学び終えなければならないため、学習内容は基礎基本が中心である。「面接指導（スクーリング）」では、各教科科目の授業だけでなく、ＨＲ活動や特別活動（生徒総会・バスハイク・主権者教育・防災避難訓練・運動会・文化祭等）を実施している。「面接指導（スクーリング）」以外の日でも、自学自習や、リポートの質問、進学・就職指導等で登校する生徒もいる。また、通信制高校の生徒の中には、不登校を経験した生徒も多数在籍している。そんな生徒たちに、「面接指導（スクーリング）」等を通して、基礎学力の定着だけでなく、人との関わり方や、自分の意思をうまく相手に伝える方法等を学ばせ、社会に出てからも逞しく生きていくことのできる力を身につけさせることが、通信制高校の大きな使命である。先生方の授業動画の配信は、新型コロナウイルスの影響で休校になった際のあくまで救済策であり、全ての授業をネット授業に移行することが通信制高校の最終目的ではない。



長崎総合科学大学のブライアン・バークガフニ教授は、令和元年６月に開催された「全通研長崎大会」の記念講演、「長崎と国際理解教育」の中で、通信制教育について、次のように話された。

「私は学生にいつもよく言っているんですけれども、『国際理解』だとか、『国際交流』だとか、グローバルな時代に適応出来る人材作りやら何やらがありますけれども、ほとんどコンセプトの域を出ないと思います。やはりあるのがこのような人と人との『face to face』のコミュニケーションが原点です。通信制の教育について、私は全く知識はありませんけど、通信制といってもやはり生徒達が時折集まって先生と交流と言いますか、出会って話をする、或いは、生徒同士が集まって何かをするという事があって、今は通信の時代、スマホ、インターネットの時代がどんどん進んでいますけど、やはり原点にあるこの『face　to　face』のコミュニケーションというのを忘れてはいけないと思います。通信教育の中も出来るだけそのチャンスを増やして、それが特に子ども達が学校を卒業して社会に出た時に、大切なものになってくるのではないかと推察いたします。」

ズバリ、核心を突いていると思った。生徒と生徒、生徒と教師、教師と教師が、「face　to　face」のコミュニケーションを取ることが、高校教育の発展、また、生徒たちの幸せに繋がると強く信じたい。

今後の予定

11月

- １日（土）　開校記念日
- ４日（火）　１年基礎学力確認テスト（～６日）
- 中地区定時制体育大会前特別日程
- １３日（木）　生徒会役員選挙
- １９日（水）　代休（２２日分）
- ２２日（土）　中地区定時制体育大会（場所：諫早高校）

12月

- １日（月）　期末考査（～４日）
- ２２日（月）　ケーキ作り
- ２３日（火）　球技大会
- ２４日（水）　２学期終業式　等

定時制ホームページにも掲載しております。

文化祭バザー

９月１３日（土）に、全日制の文化祭の一区画で、飲み物とフリーマーケットを販売しました。

普段からアルバイトをしている生徒も、そうでない生徒も、お客さんに対して笑顔で接客していた様子が印象的でした。

長崎県高等学校定時制通信制　生徒生活体験発表大会

１０月５日（日）に、佐世保市で開催された生徒生活体験発表大会に、１年の堀田誠隆さんが出場しました。島定生活で感じたことや変化したことなど、体験から学んだことを言葉にして、堂々と発表していました。

島原城薪能鑑賞会

１０月４日（土）に島原文化会館で、島原城薪能鑑賞会に衛士と案内係のボランティアとして参加しました。初めて経験する１年生は緊張する中、上級生に支えられ、無事乗り越えられたことが印象的でした。

DV 防止講話

10 月 15 日（水）に、DV 防止講話を行いました。講師の小岱 海先生（NPO 法人 DV 防止ながさき）のお話を聞き、『Ｉメッセージ』を意識した寸劇を行いました。講話を通して、一人ひとりが相手を思いやる気持ちの大切さを学びました。